

Legal Networks

03

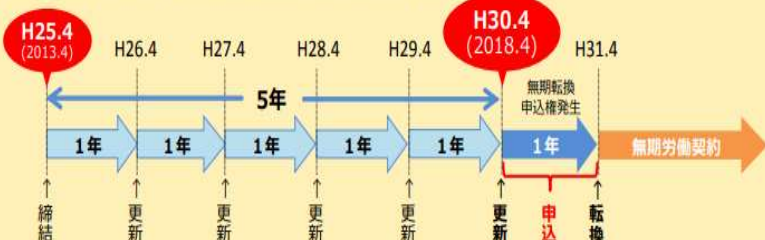
～間もなく、無期転換ルールがはじまります～

平成30年4月から無期転換ルールがはじまります。

○無期転換ルールとは

平成25年4月の労働契約法改正により、同一の企業との間で有期労働契約が5年を超えて更新されたときに、労働者の申し込みにより期間の定めのない無期労働契約に転換できるルールです。

【例：平成25年4月から、1年間の有期労働契約を更新し続けている場合】



※ 無期労働契約の労働条件（職務、勤務地、賃金、労働時間など）は、別段の定め（労働協約、就業規則、個々の労働契約）がない限り、直前の有期労働契約と同一となります。労働条件を変える場合は、別途、就業規則の改定などが必要です。

○対象労働者

契約期間に定めがある有期労働契約を同一の企業で通算5年を超えて反復更新している労働者（有期社員）が対象になります。

※契約期間がある場合は、契約社員・パートなど名称に関わらず、すべて無期転換の対象になります。（派遣社員は派遣元企業に無期転換ルールが適用されます。）



無期転換ルールの導入手順など、具体的な要件については、厚労省の『有期契約労働者の無期転換ポータルサイト』をご参照下さい。

※厚労省HP
<http://muki.mhlw.go.jp/point/>

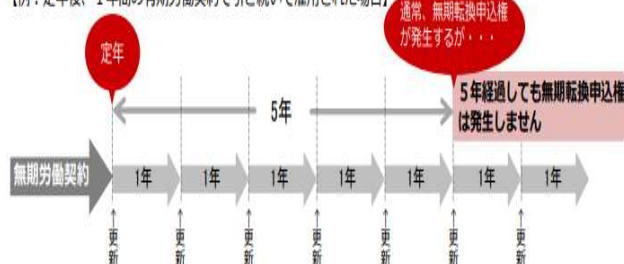
○無期転換ルールの特例

定年後に引き続き雇用される有期雇用労働者等については、無期転換の申込権が発生しないという特例があります。（有期雇用特例法）

○特例の適用には労働局長の認定が必要

特例を適用するためには、適切な雇用管理に関する計画を作成し、都道府県労働局長の認定を受ける必要があります。

【例：定年後、1年間の有期労働契約で引き続いて雇用された場合】



※ 正社員、無期転換ルールにより無期となった社員などすべての無期契約労働者

○雇用管理に関する措置とは

都道府県労働局長に提出する適切な雇用管理に関する措置の内容は以下になります。

- ・高年齢者雇用推進者の選任
- ・職業能力開発及び向上のための教育訓練の実施等
- ・作業施設、作業方法の改善
- ・健康管理、安全衛生の配慮

などになります。

これらの措置を行っていることが確認できる書類を添付します。

詳しくは、厚労省の『有期契約労働者の無期転換ポータルサイト』をご参照下さい。

適用まで1ヵ月を切りましたが、無期転換ルール・特例措置の確認など自社に当てはめて、事前に準備をしてみたいかがでしょうか。

※図、表の一部は厚労省HP『有期契約労働者の無期転換ポータルサイト』、『特措法リーフレット』より抜粋

3月の労務管理スケジュール

【労務】

3/1～3/31
2月分の社会保険料の納付



【労務】

3月分（4月納付分）から
協会けんぽの健康保険料率・介護保険料率が変わる

【税務】

3/1～3/10
2月分の源泉徴収所得税額・特別徴収住民税額の納付



社会保険労務士事務所リーガルネットワークス

〒160-0022
東京都新宿区新宿1-36-12サンカテリーナビル6F

<http://www.kintaikanrikenkyuio.jp>
TEL:03-6403-0861

2018.3月号